

○台湾における新分布樹木 (初島住彦・廖 日京) Sumihiko HATUSIMA & L. C. LIAO: Woody plants newly found in Taiwan

1) **Celtis biondii** Pamp. var. **heterophylla** (Lév.) Schneid. in Sargent, Pl. Wils. 3: 272 (1916); Rehd. Bibl. Cult. Tr. & Shr. 146 (1949).

C. bungeana var. *heterophylla* Lév. in Repert. Sp. Nov. Reg. Veg. 10: 146 (1912).

C. biondii auct. non Pamp.: Kitam. & Murata, Col. Illust. Wood. Pl. Jap. II: 256, pl. 114, 705 (1979); Z. X. Li in P. Fang, Fl. Sichuanica 3: 158 (1985).

Hab. Taiwan: 南投県: 埔里 (五十嵐邁, s.n., Oct. 27, 1987); 万大 (内田春男 19, Sept. 8, 1988); 台中県: 谷関 (S. F. Huang 64, Apr. 5, 1984); 高雄州: 高雄, alt. 300 m (杏瑞宗, s.n., Apr. 26, 1984).

Distr. China, S. Korea, Japan (Chugoku, Kyusyu, Isl. Miyako of the Ryukyus).

2) **Celtis julianae** Schneid. in Sargent, Pl. Wils. 3: 265 (1916); Anon., Icon. Corm. Sin. 1: 471, f. 941 (1972); Z. X. Li, l. c. 160 (1985).

Hab. Taiwan: 桃園県: 巴陵 (内田春男, s.n., Apr. 10, 1988); 南投県: 埔里〜立鷹, alt. 2000 m (白水隆, s.n., June 1965).

Distr. C. China.

3) **Trema orientalis** (L.) Bl. subsp. **tomentosa** (Roxb.) Murata in Act. Phytotax. Geobot. 27: 32 (1975).

Celtis tomentosa Roxb., Fl. Ind. ed. 2, 2: 66 (1932).

Trema tomentosa (Roxb.) Hara in Fl. E. Him. 2: 19 (1971); M. C. Tebbs in Hara et al., Enum. Flow. Pl. Nepal 3: 207 (1982); Soepadmo in Whitmore, Tr. Fl. Malaya 2: 423, f. 3 (1973).

Hab. Taiwan: 花蓮県: 光復〜東福 (池田豪憲 2025, July 27, 1968); 南投県: 霧社 (仲田栄二 411, July 15, 1972); 水里郷明德村 (廖日京 12458, June 21, 1988); 桃園県: 三民村 (仲田栄二 360, July 9, 1972); 台北州 (鈴木重良, s.n., 1926).

Distr. India to Malaysia.

4) **Trema dielsiana** Handel-Mazz., Symb. Sin. 7: 106 (1929); Anon., Icon. Corm. Sin. 1: 476, f. 951 (1972).

T. cannabina Lour. var. *dielsiana* (Handel-Mazz.) C. T. Chen in Act. Phytotax. Sinica 17: 50 (1979); Z. X. Li, l. c. 170, pl. 53, 2-4 (1985).

Hab. Taiwan: 南投県: 日月潭 (内藤喬 6, Aug. 7, 1938); 花蓮県: 奇密社〜大港口 (深城・山本, s.n., Aug. 26, 1929).

Distr. C. China.

5) **Trema laevigata** Handel-Mazz., Symb. Sin. 7: 107 (1929); Anon., Icon.

Corm. Sin. 1: 475, f. 950 (1972); Z. X. Li, l. c. 165, pl. 51, 1-2 (1985).

Hab. Taiwan: 台中県: 大坑 (廖日京 11736, Apr. 22, 1979).

Distr. C. W. China.

6) *Ligustrum sinense* Lour. var. *nitidum* Rehd. in Bailey, Stand. Cycl. Hort. 4: 1700 (1915), sine descr. Lat. et in Sarg., Pl. Wils. 2: 606 (1916); Pl. Hainanica 3: 213 (1974); Fl. Yunnanica 4: 641 (1986).

Ligustrum microcarpum Kaneh. & Sasaki in Trans. Nat. Hist. Soc. Formos. 21: 146 (1931); Kanehira, Formos. Tr. ed. 2: 617, f. 573 (1936); H. L. Li in Fl. Taiwan 4: 141, pl. 942 (1978), syn. nov.

Hab. Taiwan: 南投県: 東埔 沙里仙溪, alt. 2500 m (廖日京 12498, June 22, 1988); 東埔越, alt. 2500 m (白水隆, s. n., March 1967).

Distr. C. and C. W. China.

Remarks: All the specimens mentioned above are preserved in the Herbarium of Dept. Agric. Kagoshima Univ.

* * * *

1) コバノチョウセンエノキ 本変種は従来中国本土, 南鮮, 日本(中国, 九州中部・北部, 琉球の宮古島)に分布していたが, 台湾にも広く分布していることがわかった。本変種は母種と区別しない人もあるが, 葉の先端が尾状に尖るので区別しておいた方がよいと思う。

2) *Celtis julianae* Schneid. 本種はエノキによく似ているので従来はエノキと混同されていたものと思う。葉の下面, 若枝に長軟毛を密生しているのでエノキとは直に区別できる。台湾の中央山脈の2000米内外の所に分布しているようである。

3) *Trema orientalis* ssp. *tomentosa* Murata 本種は一見ウラジロエノキによく似ているが, 葉の下面や小枝に圧着した毛でなくビロード状の毛が密生し, 葉はおし葉にすると赤褐色に変色するので直に区別できる。従来はおそらくウラジロエノキと混同されていたようである。印度からマレーシアに広く分布し, 台湾では各地に広く分布しているようである。中国本土に記録がないが, おそらくウラジロエノキと混同しているものと思う。

4) *Trema dielsiana* Schneid. 本種は一見コパフンギ (*T. cannabina* Lour.) に似ているが, 小枝, 葉の下面に短い軟毛が密生しているので直に区別できる。中国では中部に分布し, 台湾では中高地に分布しているようである。

5) *Trema laevigata* Handel-Mazz. 本種はコパフンギに似ているが, 葉には三主脈でなく羽状脈があり, 下面はきわめて粗渋であるので直に区別できる。中国では西南部に知られ, 台湾には稀であるかどうかははっきりしない。

6) *Ligustrum sinense* var. *nitidum* Rehd. 従来台湾でコミノネズミモチと称していたものは本変種と同一物である。本変種は中国の中部、西南部に分布し、台湾では阿里山方面の海拔 2500 m 内外の所に分布するようである。母樹は中国本土に広く分布し、本変種は葉の表面に光沢ある点で区別されている。

附記：上記植物の採集者のうちの白水隆、五十嵐邁、内田春男の三氏は蝶の研究家で、蝶の食樹調査の際に台湾未記録の上記の植物を偶然に発見されたもので、植物専門の採集家が見過していたことはまことに不思議である。

(鹿児島市 [redacted] ・台湾大学農学院林学系)

□ Alaba, R.: **Edward August Vainio's types in TUR-V and other herbaria** 513 pp. 1988. The Herbarium, University of Turku, Turku. 100 Finish Marks. E. A. Vainio (1828-1929) は A. E. Nylander (1831-90), Müller Arg. (1828-96), A. Zahlbruckner (1860-1938) と並んで多数の地衣類の新しい taxa を記載した地衣学者として有名である。そのため、フィンランドの Turku 大学に保管されている, original collection は世界の地衣学者によって頻繁に利用されている。本書は, Vainio が記載した taxa のタイプ標本のカatalogというべきもので, 学名をすべてアルファベット順に配列し, その原記載が発表された文献, 採集地, Turku 大学の Vainio Herbarium (TUR-V) の登録番号, さらに, lectotype, holotype, isotype および syntype の別が記されている。また, タイプの種別が特定されていない場合には, 単に type collection としてある。本書の著者 R. Alaba は Turku 大学在職中は Vainio Herbarium の標本の管理に当り, その間他の研究機関の研究者からの標本の貸出し要求に対応してきたが, 時どき当該の標本が TUR-V にも保管されていないことを発見した。そこで, 定年退職後にこのカatalogの作製を企画し, このほど漸く完成したものである。本書は分類学上の業績としては評価され難いかもしれないが, 地衣学者にとって非常に便利なものであることは間違いない。

(黒川 遼)

□ Fiala, F. J. L.: **Lilacs, the genus *Syringa*** 266 pp. 1988. Timber Press, Portland, USA. ¥11,990. 著者は牧師と教育家を業とするかたわらライラック栽培の専門家としても知られた人である。本書では22種(雑種は含まず)を認めただけ、韓国から採集された *Syringa debelderi* を新種として記録している。種の記述のほか, 特に章を設けて花色についてのくわしい記述がある。後半は栽培に関する記述で, 末尾に目的別の文献リストがある。

(金井弘夫)